

(仮訳)

IASB 新議長のあいさつ

2011 年 7 月 1 日

今日私はデイビッド・トゥイーディー卿から、国際会計基準審議会 (IASB) の議長職を引き継ぎます。デイビッド (以下「トゥイーディー氏」) は、国際会計の分野では、最も有名な人物のうちの一人であり、英国会計基準審議会 (ASB) の議長を 10 年間務め、最後の 10 年は高品質な国際会計基準の作成をリードされました。

充実した遺産

トゥイーディー氏の任期の間に、当初は各国及び地域の会計基準が溢れていた状態から、100 か国以上の企業が IFRS を使用するようになりました。ほんの 10 年間の本当に驚くべき成果は、トゥイーディー氏のビジョンとリーダーシップに対して、相当の信頼が寄せられたということの証です。財務報告の透明性についての選手権があったら、トゥイーディー氏はその勝者となるでしょう。私達は、彼の退任後の幸福を願います；ただしトゥイーディー氏はスコットランド勅許会計士協会 (ICAS、議長の本拠地) の会長に就任する予定で、引退の報を聞くことはないのではないかと思います。

透明性及び投資家の保護のための情熱

私は、会計の技術的な専門家ではなく、トゥイーディー氏の明確な後継者としては見られていないのかもしれませんが、相当な期間、財務報告の問題に関与していました。私はオランダの財務大臣及びオランダの証券及び市場の監督機関である金融市場当局 (AFM) の議長を務めました。この間に、財務報告の透明性と開放性の重要性について、強い信念を築きました。実際には、金融危機の間、財務報告の透明性を最高レベルに維持することに賛同し、会計基準はおびえた投資家と市場を「保護」することについて中立であるべきと信じる (そして多くの) 人々への苛立ちがありました。

金融危機への対応策を諮問するべく、2008 年 11 月に IASB 及び FASB が、金融市場について広範な経験を有する国際的なリーダーで構成する金融危機諮問グループ (FCAG) の共同議長に私を招聘したのは、おそらくそのためです。私は、才能があり多様なグループが構成する FCAG に参加できて幸運でした。私は、私達が公開した報告書を誇りに思い、また、問題の根幹に到達したと信じています。それは本当に、私が IASB の議長に就任することに終わる旅への始まりでした。また、それは会計についての私の関心を引き起こす経験でした。それ以来、私の財務報告に対する洗礼は続いており、証券監督者国際機構 (IOSCO) の専門委員会委員長や、最も直近では、IASB の監視機関である IFRS 財団のモニタリングボードの議長を務めました。

(仮訳)

国際的な改革の機会

幅広い政策への展望に関する私の理解がおそらく、評議員会が私を IASB 議長に指名した理由です。なぜ私は議長職を受け入れたのでしょうか？第一に、私がオランダの公益のために従事している間は、グローバルなレベルとの違いを作れるという考えを享受しました——私が信じている国際的な水準へ向上させる、最高度の透明性を提供できる位置におりました。第二に、私の経験と純粋な財務報告の世界の外部との接触は、国際的な金融システムにおける重要な歯車として、IASB を正当な場所に位置付けるのに資すると信じています。第三に、私は専門的な背景はありませんが、基準を支える基本原則に対しては、明確な考えを持ち、強力な支援を行います。部外者が来て、基本的な質問をすることが必要となる時があります——なぜ私達はこのようなことをするのでですか？——変化を促すためです。最後に、私はその目標に向かって、IASB を指揮し、その結果、市場に素晴らしい製品を継続的に提供できると考えたいと思います。

幸運なことに私は、強力な副議長に英国 ASB の元議長であるイアン・マッキントッシュ氏を迎えます。同氏と緊密に連携し、多くの国際的なアウトリーチ活動を共有します。

優先順位

今、食器の上に多くのものがあります。私達の最優先課題は、可能な限り最高の基準にし、非常に優れたアウトリーチプログラムから得られた成果を保証するために、FASB との残りのコンバージェンスプロジェクトを完了させることです。私達は全ての人々を喜ばせることはできませんが、高品質で原則ベースの基準を提供するための正しい道を歩んでおり、それは投資家やその他の財務諸表利用者に対して透明性を促進するものであると信じています。

この作業が完了に近づくと、コンバージェンス後の議題の開発を始めることができます。私達は近々、ある考えを提示した市中協議文書を公表しますが、より重要なのは、これはフィードバックを求めるために設計されているということです。何が緊急に修正される必要があるか？限られた資源の中で何を選択するのが最善なのか？私達は皆様の見解を伺いたいと思います。

同時に、私たちは、IFRS の ジグソーパズルの失われたピースの完了を手助けする必要があります。その重要な要素とは、米国が IASB に参加することを奨励していることです。米国市場で上場する外国企業の IFRS 適用は既に容認されており、米国証券取引委員会 (SEC) が近々、米国の財務報告制度に IFRS を完全に組み込むことに移行することについて私は楽観的です。米国は、単一国の金融市場としては最大であり、最も発展し成熟した会計基準を有しています。SEC は適切な移行措置を行うため時間を掛けることは合理的であると私は考えますが、米国企業が近い将来の何らかの確定事項を歓迎することは明らかです。SEC の決定は確実に世界の他国の結論に影響を与え、他の主要な経済大国は、自身の適用計画の完了の前に何が起こるかを注視しています。

(仮訳)

私にとっての残された優先課題は、IASB と (各国の) 制度との関係と、組織の独立性への尊重とを強化することです。従って、私達の作業により影響を受ける世界各国との連携を深め、オーナーシップの考えを保証しますが、それは私達が開発する製品を彼らが購入することを意味します。

結論

IASB は若い組織です—ティーンエージにもまだなっていませんが、確実に急成長しています。公共の利益に基づいて正しく行動しようとしている人々による情熱的で優秀なグループを引き継ぐのは幸運なことです。15名の理事と26カ国からの54名のテクニカル・スタッフで構成され、私達は本当に多様な集団です。

私達には多くの課題があります。この多様性にもかかわらず、ロンドンの1つの事務所のみで運営されていますが、国際的な影響力があります。内部の構造は、組織が国際的な責任に適合するにつれ、進化します。アウトリーチなどの多くの分野では、本当に世界クラスであると信じています。;その他の分野では改善する必要があります。

国際的な財務報告基準の必要性は、かつてない位に大きくなっています。私は、IASB を指揮し、デイビッド・トゥイーディーと彼の同僚が2001年に開始した作業を完了するという機会を享受することになります。

ハンス・フーヘルフォルスト